

「ニチアス株式会社百年史」から 年表(抜粋)

・平成8年11月に発行された日本アスベスト(ニチアス)社の社史「ニチアス株式会社百年史」からの年表の抜粋です。

西暦	元号	日付	当世事項	日付	社会・一般
1894	明治27	-	当社の前身、久栄商店設立。栄屋誠貴の共同経営	8.1	日清戦争勃発
1896	明治29	1.23 4.9 8.23 -	発起認定申請書を農商務省に提出(2.20認可) 日本アスベスト(株)設立。宮崎純三、初代社長に就任 長崎県西彼杵郡蚊焼村の石綿山1町歩(9,917㎡)採掘権取得 大阪工場の開設	10.1	造船奨励法、航海奨励法の施行
1899	明治32			3-	通報艦「宮古」竣工
1901	明治34	3-	汽缶漏水防御用アスベスト塗料の特許取得	2.5	官宮八幡製鉄所の操業開始
1902	明治35	11.1	品川工場の開設(東京府荏原郡品川町大字南品川宿字東広町583番地)		
1905	明治38	11.15	大野徳三郎、第3代社長に就任		
1906	明治39	4- 6-	保温用石綿帯の特許取得 軽量石綿塗料の特許取得	3.31 11.26	鉄道国有法公布 南満州鉄道(株)(満鉄)設立
1907	明治40	5.18	海軍の指定業者となる		
1911	明治44	11.15	合名会社大倉組代表社員門野重九郎、当社相談役に就任		
1912	明治45/大正1	4.25	久保貢前社長逝去		
1914	大正3	6.23	門野重九郎、第4代社長に就任	7.28	第1次世界大戦勃発
1915	大正4	1.28	皆川廣量、第5代社長に就任	3-	猪苗水力発電所完成。水力発電の始まり
1916	大正5	9-	東京工場の開設(東京府荏原郡品川町大字北品川宿字小関耕地524番地)		
1917	大正6	1.28	大野徳三郎、第6代社長に就任		
1921	大正10	2.2	耐火石綿板製造法の特許取得		
1923	大正12			2.2	東京・丸ノ内ビルヂング(丸ビル)完成
1924	大正13	11-	大阪支店にて『アスベスト商報』を創刊	3.4	朝日スレート(株)(現・(株)アスク)の設立
1927	昭和2			1.21	日本プレーキライニング製作所(現・日本バルカー工業(株))の設立
1928	昭和3	10.1	『アスベスト商報』を『アスベスト時報』と改称		
1929	昭和4	2- 6- -	渡辺常正、欧米へ海外視察(11月帰国) 稲吉兼作取締役、ソ連へ海外出張(11月帰国) 大阪支店にて「石綿読本」「石綿と防火」等のパンフレットを発行		
		-	ドイツ製各所機械の調査・買付け ◇ジョイントシート製造機 ◇綿紡績用カード(梳綿機) ◇プレーキライニング用機械		
1931	昭和6	-	国産第1号のジョイントシートの完成		
1932	昭和7	7-	大連出張所の開設。13年までに奉天(現・瀋陽)、新京(現・長春)、ハルビンに各出張所を開設	3.1	満州国宣告宣言
1933	昭和8	-	日満石綿(株)の設立(満州国・安東)		
1937	昭和12	6-	王寺工場の開設(奈良県北葛城郡王寺町3333番地)(大阪工場を移転)		
1968	昭和13	9-	逓信省・電気試験所より石綿工業化の実施権を譲受	4.1	国家総動員法公布
1969	昭和14	12.4	鶴見工場の開設(横浜市鶴見区大黒町14番地)(東京工場を移転)		
1941	昭和16			12.8	日本軍、ハワイ真珠湾を奇襲。太平洋戦争勃発

西暦	元号	日付	当社事項	日付	社会・一般
1942	昭和17	9.25	大野徳三郎社長逝去(28日、青山斎藤場で社葬)	11.-	日本石綿製品工業組合(現・ロックウール工業会)の設立
		10.7	大野清一専務、第7代社長に就任	12.-	物資統制令による石綿配給統制規則の発布
1943	昭和18	10.25	(株)祖岳製作所設立(現・当社羽島工場)	10.31	軍需会社法の公布
				-.-	石綿海交会の結成
1945	昭和20	-.-	米軍がつるみ工場の半分を接取し、カマポコ型兵舎を建設		
1947	昭和22	4.-	商工省の指定工場となる(肥料関連)		
1948	昭和23			5.26	(社)日本石綿協会の設立
1949	昭和24	2.-	稲吉兼作専務、石綿製品工業会会長に就任	4.-	石綿原料の一部輸入再開
1950	昭和25			6.25	朝鮮戦争の勃発
1951	昭和26	2.-	渡辺常正専務、石綿原料確保のため、アメリカ・カナダへ派遣	5.1	日本発送電(株)分割、北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州の9電力が発足
		7.-	後藤周三郎資材部長、日本石綿製品工業会を代表して南アフリカへ石綿調査・買付けのため海外出張		
		-.-	運輸省より高温・高圧用スチールベストカスケットの基礎的研究に研究補助金		
1952	昭和27	7.-	奈良県・葛城労働基準監督署と奈良県立医科大学の共同で王寺工場の職場環境調査	3.-	石綿原料配給統制の全面的廃止
1954	昭和29	6.-	稲吉兼作専務、日本石綿協会会長に就任		
1955	昭和30	8.23	JIS指定工場となる		
		11.29	日本リークレス工業(株)の設立		
1956	昭和31	-.-	イギリスのスプレイド・インシュレーション社とトムレックスの技術提携		
1957	昭和32	7.15	竜田工業(株)の設立		
1958	昭和33	9.25	ファイアボード、建設省建築研究所の屋外2級防火試験に合格		
1959	昭和34	10.15	(株)祖岳製作所を吸収合併。資本金1億9,500万円となる		
1960	昭和35	12.24	ファイアボード、通産省より不燃材料指定	3.31	じん肺法公布
		-.-	ケーブ・アスベスト社とカボサイトの技術提携		
		-.-	カボサイトの発売		
1961	昭和36	8.1	トムレックス工事(株)の設立		
		11.29	稲吉兼作専務、第8代社長に就任		
		-.-	日アスパネル、建設省建築研究所の耐火3級試験に合格		
1962	昭和37	2.1	東京証券取引所市場第一部に上場		
		2.-	ケーブ・アスベスト社とファイアボードの販売・技術提携		
1963	昭和38	10.6	U.S.ジブサム社とMGFについて技術提携	7.16	建築基準法公布
		12.29	渡辺常正専務、第9代社長に就任	10.-	全石綿製品の100%自由化
1964	昭和39	1.-	カボスタックの発売		
		3.2	袋井工場の開設(袋井市高尾1980番地)		
		4.5	社内報「アスベスト」創刊		
1966	昭和41	2.22	前社長、稲吉兼作相談役逝去(25日、鶴見・総持寺で社葬)		
1968	昭和43	9.-	中央安全衛生委員会の発足	7.-	石綿製品の輸入関税引下げ
1969	昭和44	3.29	越川幸蔵専務、藍綬褒章を受章		
1970	昭和45	4.-	環境改善委員会の設置	12.18	公害対策基本法改正
		-.-	ニューヨーク駐在員事務所の開設		
1971	昭和46	1.-	本社技術部に環境改善課を設置	6.5	新宿副都心の超高層ビル第1号、京王プラザホテル
		-.-	勸告・釜山市に第一アスベスト社を設立		
1972	昭和47	6.-	日本アスベスト・サウスイースト・アジア社の設立	9.30	特定化学物質等障害予防規則の制定
		10.-	アスベストフリーけい酸カルシウムの検討開始		
		10.-	アスベストフリー吹付材の研究開始		

西暦	元号	日付	当社事項	日付	社会・一般
1973	昭和48	6.1	労使のじん肺対策委員会を設置		
1974	昭和49	9.25	結城工場の開設(茨城県結城郡千代川村大字五箇所字須賀221)		
1975	昭和50	5.26	渡辺常正社長逝去(6.4 東京・青山葬儀所で社葬)		
		5.29	越川幸蔵専務、第10代社長に就任		
		-	湿式吹付工法の完成		
1979	昭和54	6.29	山邊卓郎専務、第11代社長に就任		
		7.26	吹付時に塵埃の生じないロックウールを主材とする吹付施工用被覆材(トムウエット)の特許取得		
1981	昭和56	10.1	日本アスベスト社をニチアス(株)に社名変更		
1985	昭和60	6.28	音馬峻常務、第12代社長に就任		
1990	平成2	3.7	越川幸蔵元社長逝去(27日、東京・千日谷会堂で社		
		4.17	「石綿問題に対する基本姿勢」発表		
		10.3	タイ・ニチアス・エンジニアリング社の設立		
1992	平成4	1.17	ニチアス・エンジニアリング・マレーシア社の設立		